

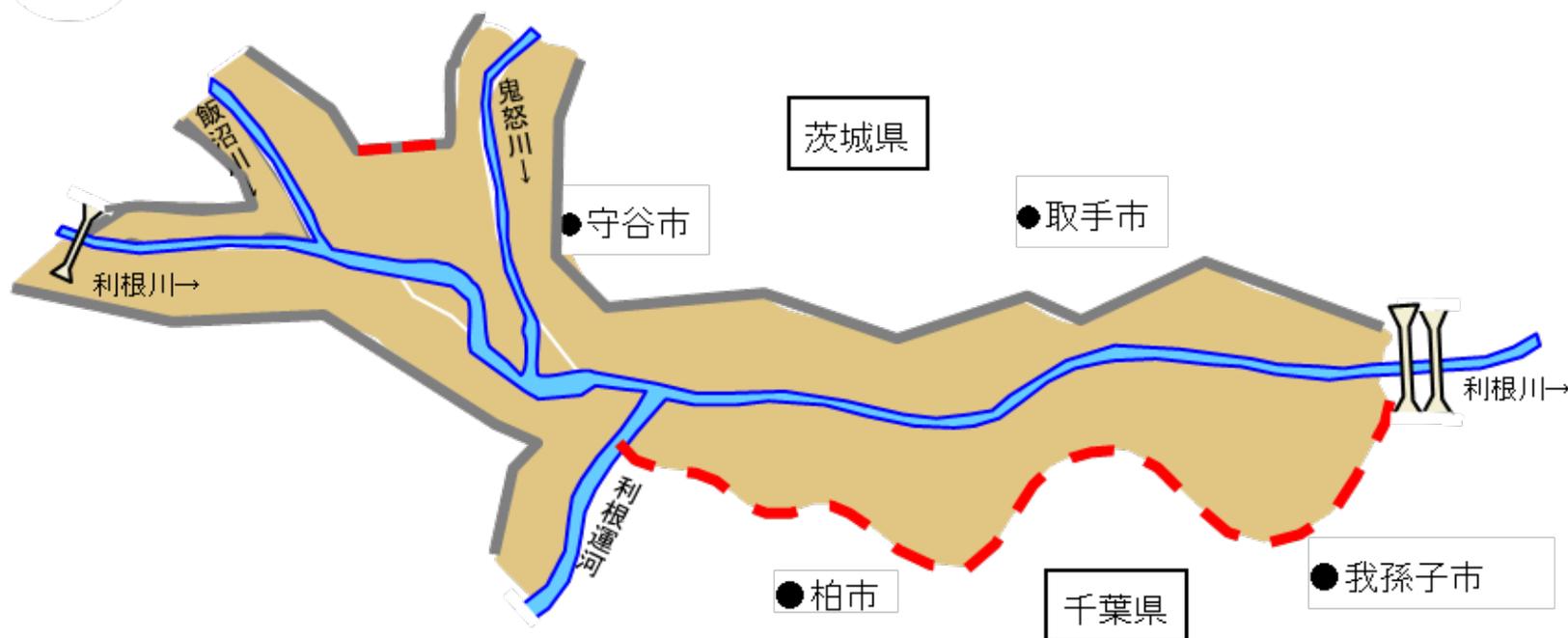
田中調節池の変遷① 遊水地

【～昭和初頭】

- ・昔は、大部分が湖底でしたが、利根川の東遷により湖水位が低下して陸地化。
- ・大部分が荒地、沼地でした。
- ・周囲堤を築堤したことにより、遊水地となりました。

① ～昭和初頭

(イメージ)



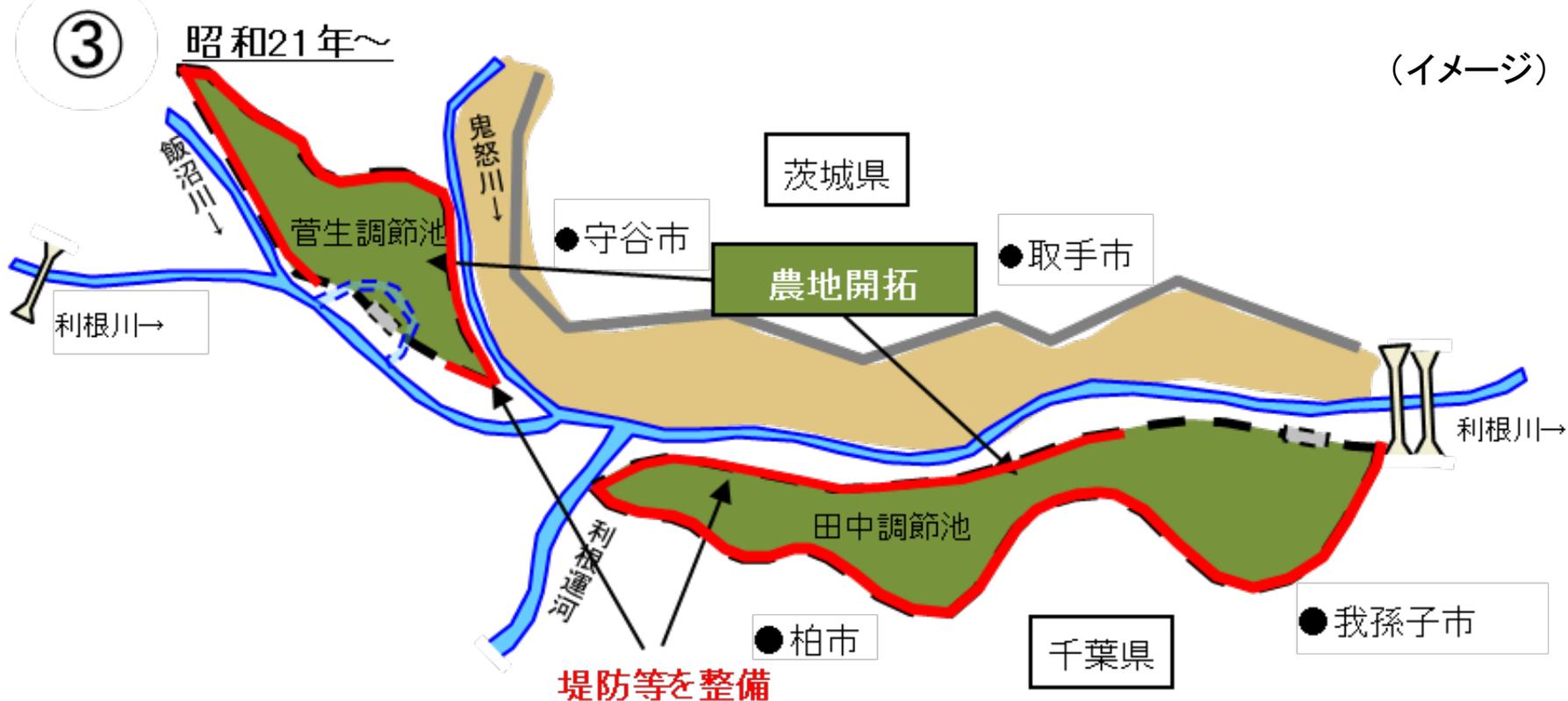
田中調節池の変遷③ 調節池内の農地開拓

【昭和21年～】

- ・農地: 地元増反者や海外引揚者が入植して開墾に従事されました。
- ・施設: 建設省・農林省により事業再開しました。
 - 民地としての耕地化(揚排水機場, 揚排水幹線, 道路等)(農林省)
 - 洪水時の調節池化(築堤, 水門, 越流堤)(建設省)

【昭和23年～】

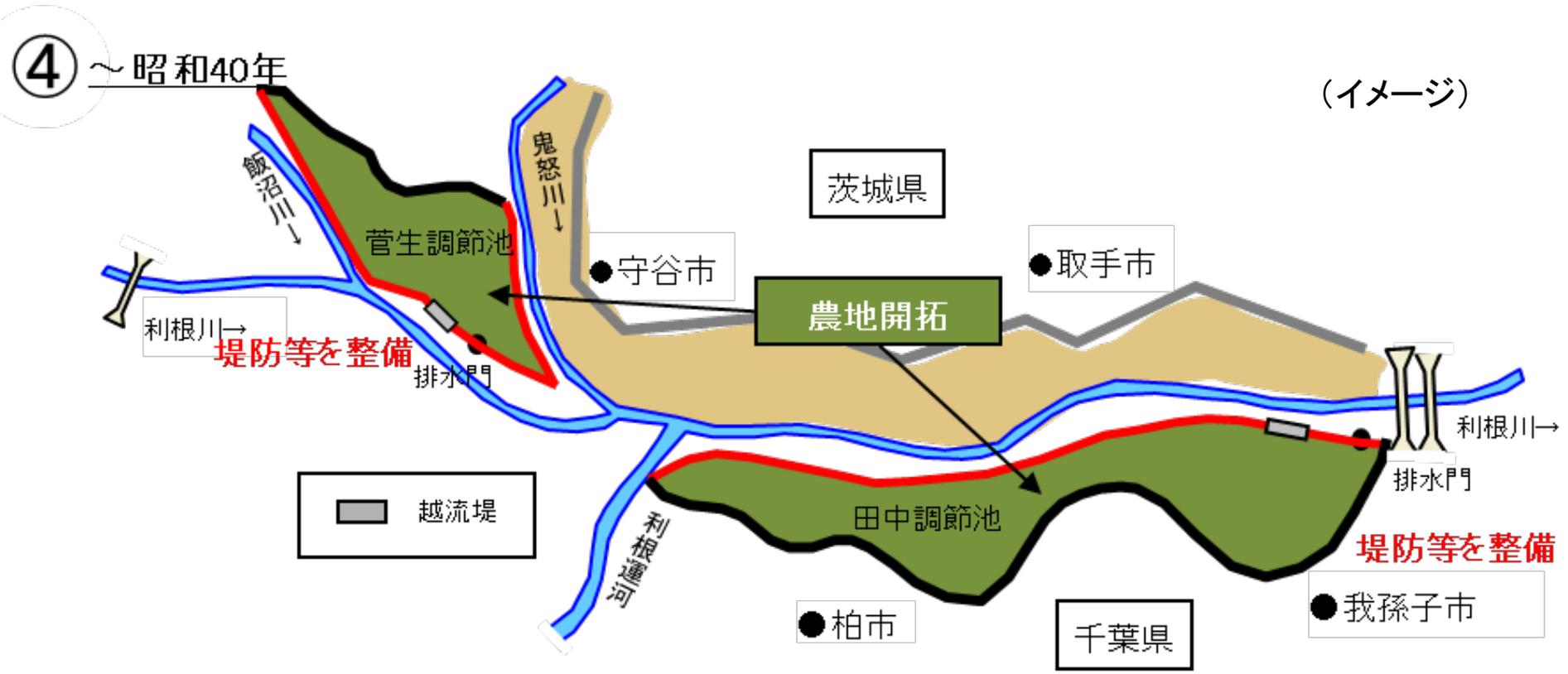
- ・国が未墾地を買収し、入植者や地元増反者に払い下げられました(農地解放)



田中調節池の変遷④ 調節池の概成

【～昭和40年】

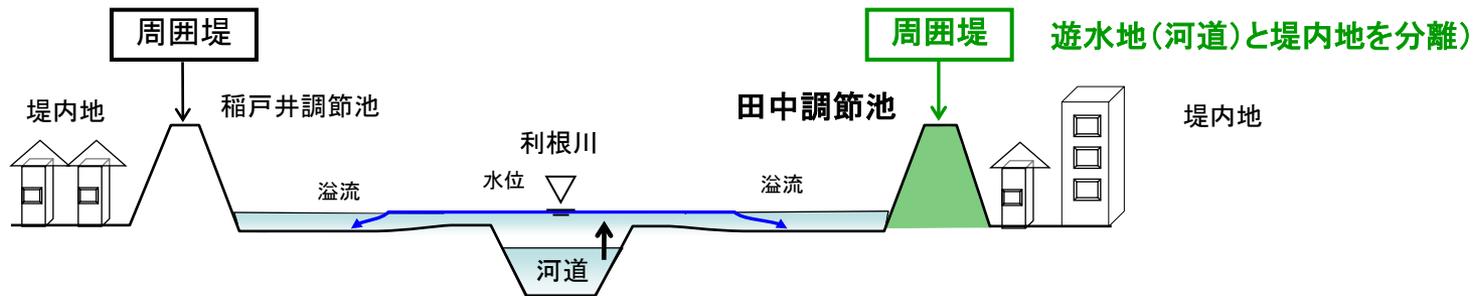
・水門や排水機、越流堤の完成やその他整備し、概成しました。



田中調節池の変遷 遊水地から調節池へ

【遊水地】

川の水位が低水(小さな河道)を越えると、一体に水が広がっていました。



調節池化

【調節池】

川の水位が越流堤の高さを越えると、調節池の中に流入するようになりました。

